

日本工業大学後援会千葉県支部会報

# わかしお

## 千葉県支部会員の皆様へ

支部長 高橋 誠

半年遅れのご挨拶となっております。まいりましたが、六月の通常総会で後援会千葉県支部第十九代支部長を拝命した高橋です。今後ともよろしくお願いいたします。

今年は新型コロナの影響で、大学の授業だけでなく後援会活動も大きく制約されており、そのような中でも九月に臨時総会開催、十一月にGoTo日工大イベント開催、また千葉県支部のホームページの正式なド

メイン契約とサービスの拡充、といった対応を矢継ぎ早に行っていました。

このような活動の運営は現役役員の手だけではとても足りず、かつて役員として活動されていた方々に相談役という形でご協力いただくことで、続けていきます。

また、大学側からも総務部の方々を中心に多くの方の協力をいただいております。先日GoTo日工大では土曜日であるにもかかわらず五名の職員が最後までサポートしていただき、大変感謝しております。

千葉県支部の活動はこうした方々のネットワークが支えています。皆様も是非、支部の活動に可能な範囲でご参加いた



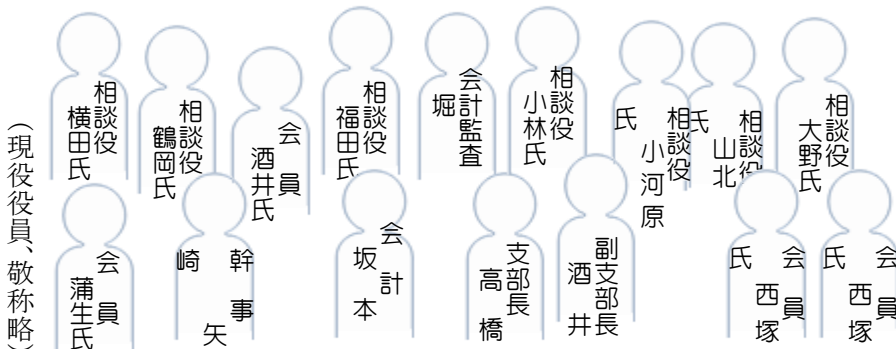
高橋支部長近影

発行  
日本工業大学後援会  
千葉県支部  
高橋 誠

## 令和二年度 千葉県支部役員等

き、ネットワークの一員として交流を広げながら学生を支援していきましょう。

次回合合予定の案内は、ホームページで常時開示しておりますので、皆様も是非、お気軽にご参加ください。



## 千葉県支部のURLとメールアドレス変更のお知らせ

この度、ドメイン契約により後援会千葉県支部のURLとメールアドレスが変わりました。お手数をお掛け致しますが、既に旧ドメイン等で登録されている方は、変更をお願いいたします。

新URL：[https:// nit-chiba.com/](https://nit-chiba.com/)  
新メールアドレス：[root@nit-chiba.com](mailto:root@nit-chiba.com)

## 二〇二〇年度秋学期の授業・ 学費等について (学長からのメッセージ)

二〇二〇年度春学期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、行事日程や授業運営等に変更が生じることとなり、学生やご家族の皆様にはご不安やご心配もあったことと存じます。現状においても感染の収束には至っておらず、本学では学生の安全を第一に考え、二〇二〇年度秋学期の運営方針を次の通りいたします。

- 一・授業は科目ごとにオンラインによる遠隔授業と対面授業を併用します。
- 二・学生生活に必要な学内の施設は利用可能とします。
- 三・学費等の減免は行いませんが、修学支援体制をより一層強化します。
- 四・課外活動は段階的に制限を緩和します。

### 【授業は科目ごとにオンラインによる遠隔授業と対面授業を併用します】

春学期、本学では新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け、急遽ほぼ全ての科目をオンラインによる「遠隔授業」に切り換え、実験・実習等一部の科目については少人数での「対面授業」を行いました。学生全員を対象に

アンケートを行ったところ、反復して授業を何度も視聴することが出来る点や教員に直接質問しやすい点など、遠隔授業ならではのメリットを感じ、秋学期も「遠隔授業」の継続を望む声が多くありました。こうした声と、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、秋学期は講義・演習科目において引き続き「遠隔授業」を実施します。ただし、教育効果の観点から、卒研指導・ゼミ、実験・実習・製図科目における必要な授業時間は「対面授業」を実施します。

また、「遠隔授業」の一層の充実や教育効果をはかるため、下記の通り対応をいたします。

- ◆ 学修の進捗に応じた対面による補習を実施します。
- ◆ 「対面授業」により近づけるため、「動画配信型授業」「ライブ配信型授業」を拡充します。
- ◆ 全教員を対象に授業改善のための研修を実施します。

### 【学生生活に必要な学内の施設は利用可能とします】

学生食堂(ダイニングホール)、みのり寿司、アルテリーベ)、購買部、書店(ブックカフェ)、スチューデントサービスデスク(NITクリエイト)等キャンパスでの学生生活に必要な

施設はほぼ全て利用可能な状態となっております。各施設、感染症対策には細心の注意を払って運営しておりますので、安心してご利用ください。

また、教務課、学生支援課、財務課、健康管理センター、LCセンター(図書館)、学修支援センター、英語教育センター、教職教育センター等学生の皆をサポートする各部署では、窓口だけでなく、メールや電話での質問・相談もお受けしております。また就職支援課、学生相談室ではオンラインによる面談も対応しております。ご不安・ご心配なことやご不明なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

### 【学費等の減免は行いませんが、修学支援体制をより一層強化します】

本学では教育の質の確保のため「遠隔授業」の環境整備・改善や、「対面授業」を実施する実験実習設備等の整備を進めております。大学の活動資金の多くは、皆様から納めて頂いている学費によって賄われておりますが、それらを授業や授業外教育に必要な環境整備等に充てさせていただきます。皆様にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

維持や管理にも充てさせていただきます。これらの取り組みにより、全学生の皆様の学費を一律に減免することは困難な状況であることをご理解賜りますようお願い申し上げます。また、引き続き秋学期におきましても、修学支援体制のより一層の強化に取り組んで参ります。

### 【課外活動は段階的に制限を緩和します】

課外活動については段階的に施設等の利用制限を緩和していきます。新型コロナウイルスの感染拡大状況に際し、本学の定めた基準に合わせて各運動施設・学生施設の利用を可能としていく予定です。各課外活動の制限緩和時期等については別途サポータル等でお知らせします。

秋学期の授業実施方法や施設利用状況等については上記の通りですが、本学では引き続き、学生・ご家族の皆様のご健康と安全を最優先にしつつ、教育の質確保に教職員一丸となって全力で取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

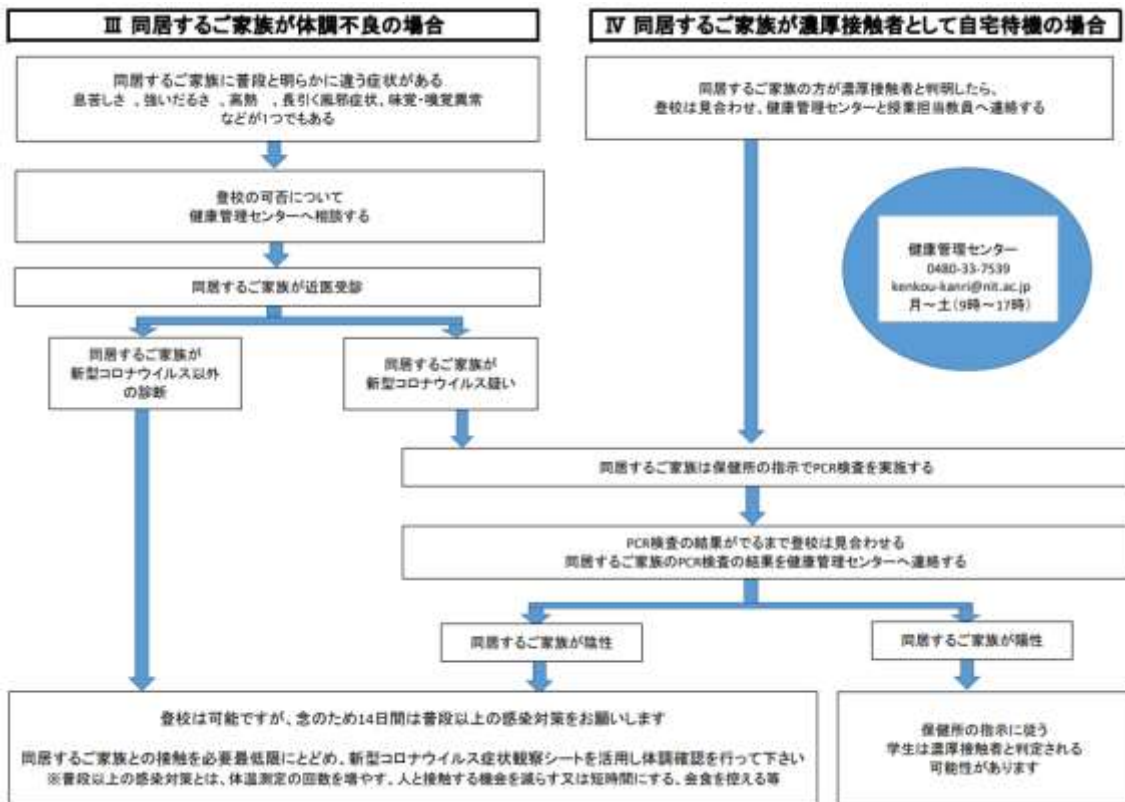
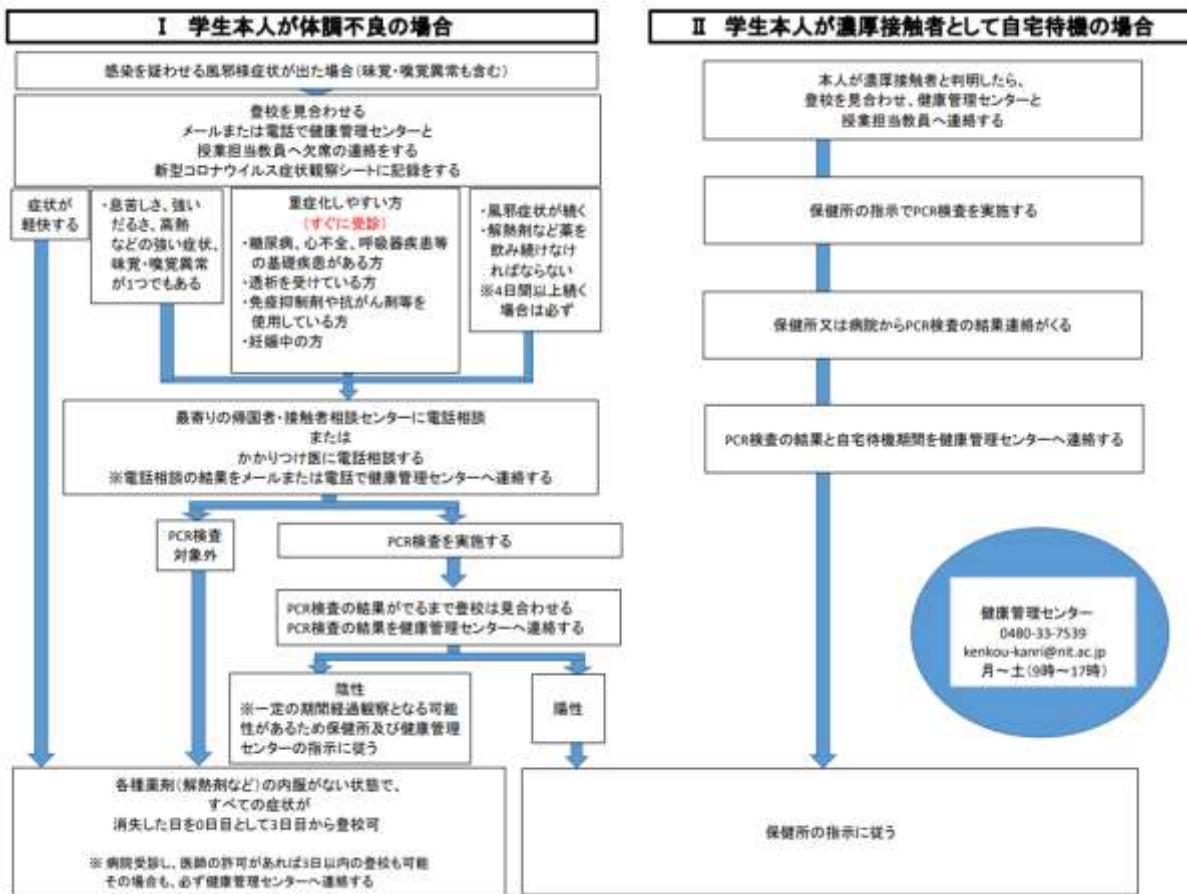
令和二年九月十八日

※大学HP「新型コロナウイルス対応状況一覧」から(支部のHPにもリンクを張っております。)

新型コロナウイルスに感染しない・

感染を広げない為の対応(第三報)から抜粋

皆様の参考になるかと思ひ、大学HP「新型コロナウイルス対応状況一覧」の「新型コロナウイルスに感染しない・感染を広げない為の対応(第三報)」(令和二年九月九日)から新型コロナウイルスに罹患した場合の処置フローを抜粋



# 「GoTo 日工大 from 千葉」を終了

副支部長 酒井 恵司

去る十一月十四日(土)、日本工業大学において後援会千葉県支部主催の「GoTo 日工大 from 千葉」と銘打って学園内の見学及び大学職員による新型コロナウイルスに対する大学の取り組みなどの説明懇談会を開催いたしました。

このイベントの目的は、コロナ禍の中、保護者の大学に対する不安を少しでも解消していただくことです。実際に大学に足を運んでいただき、



大学の正面玄関前で参加者との集合写真

大学の(コロナ対策を含めた)状況を目で見て、職員の生の声を聴き、後援会の生の声を聴いていただくことが一番の近道と考えて企画しました。イベントを通じて支部活動へのご理解も深めていただけたかと思えますし、また近隣に住む日工大生の保護者同士の交流も今回、限られた時間の中でしたが、実現できました。

会は、高橋支部長の開会の挨拶に始まり林総務部長挨拶、大学職員と支部役員紹介と進み、竹内学生支援部長による「学生生活について」は、新型コロナウイルスにおける大学の取り組みや現状等についてご説明いただきました。

内容は、新型コロナウイルスにより困窮する学生のための奨学金制度(工友会の特例奨学金については、支給)による支援や元高校教師等が在籍する学修支援センター利用について紹介などの他、遠隔授業実施に際しては、貸し出し用のパソコンやタブレットの準備に始まり、遠隔授業のための学習コンテンツの作成に不慣れな学科担当教員のため、作成が得意な教員によるチームを編成し支援する体制を整えるとともに学生に対して今後の遠隔授業に活かすためアンケートを実施するなど多岐にわたる取り組みを紹介していただきました。

遠隔授業のアンケートでは、生徒の理解度の確認が難しい反面、生徒からは、回復して確認できるとの高評価を得たとのことでした。

また、授業の特性に応じて対面と遠隔を使い分けることで、遠隔授業でも学習効率が落ちていないことが確認できたとのことでした。

続いて、校内見学ツアーでは、機械実工学教育センター、機械システム学群棟の研究室を見学させていただき、応用化学棟、LCセンターと工業技術博物館内の「植原鉄工所」(NHKの朝ドラ「梅ちゃん先生」の撮影に使われた)、多目的講義棟へと移動し、最後にダイニングホールを見学させていただきました。

普段、なかなか見学できない研究室では、授業を二組に日時を分けて実施するなど密にならないよう配慮し授業を行っている現状や、施設の入り口に非接触型の検温器の設置やダンクホールテーブルにはアクリル板で仕切るなど随所に大学の新型コロナウイルスへの対策が見られ大学の新型コロナウイルスに対する取り組みを見ることができ、有意義な見学でした。

最後にLCセンター一階のアラテリーベでのティータイムでは、予定にはなかった大学の職員の方も参加いただき、ここでも、軽食をつまみながら、気兼ねなく質問できる雰囲気の中でいろいろなお話することが

出来ました。

最後に、大学側から想定以上に充実した資料を準備いただき、また学内も通常は見せない「現実の部分」を多く見せていただいたことなどにより、とても新鮮な体験に満ちた一日になりましたことを感謝するとともに、時間が過ぎても退室することなく最後まで参加いただいた会員の皆様にも、感謝申し上げます。



竹内学生支援部長の研究室の見学



非接触型の検温器は、校内五十か所に設置されている。